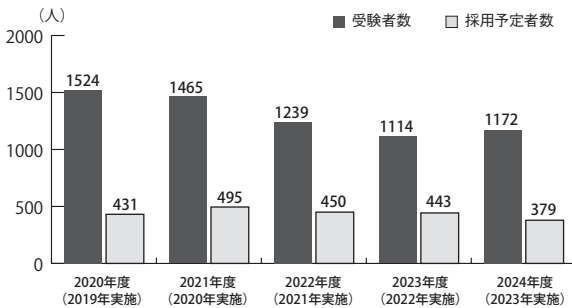


大分県

面積	6,341 km ²
人口	1,086,116 人
県の花	豊後梅
県の木	豊後梅
県の鳥	めじろ

求める教員像	①専門的知識をもち、実践的指導力のある人 ②使命感にあふれ、高い倫理観と豊かな人間性をもつ人 ③柔軟性と創造力をそなえ、未知の課題に立ち向かう人 ④学校組織の一員として考え行動する人
出願期間	公開日 4月1日(月) 電子申請 4月8日(月) 9:00~4月30日(火) 17:15
試験日程	1次試験 試験日 6月16日(日) 合格発表日 7月16日(火) 2次試験 試験日 8月3日(土)~10日(土)の指定した日 合格発表日 8月30日(金)
年齢制限	昭和40年4月2日以降に生まれた者
募集教科	【小】 【小中】算数・数学、理科、音楽、保健体育、英語 【中】国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語 【高】国語、地理歴史(世界史、日本史、地理)、公民、数学、理科(物理、化学、生物)、保健体育、音楽、美術、書道、英語、家庭、農業(作物・園芸、畜産)、工業(機械、電気、土木、建築、工業化学、デザイン)、水産(機関、航海)、商業、情報、福祉 【特】(小)(中)(高) 【養】 【栄】
特記事項	<p>■特別選考 ●特別選考Ⅰ(障がい者特別選考) 試験内容等は一般選考と同じ。障がいの種類や程度に応じた受験上の配慮を行う。●特別選考Ⅱ(社会人特別選考) [小・小中・中・高] 志願者で、民間企業等において常勤職員として令和6年4月1日現在3年以上継続して勤務している者は、1次の教職・一般・専門に代えて小論文を実施。●特別選考Ⅲ(スペシャリスト特別選考) [高] 志願者で、スポーツの指導者として規定の要件を満たす者は、1次を免除、2次はプレゼンテーションと面接を実施。●特別選考Ⅳ(他県教諭特別選考) 大分県以外の国公立の正規教員(志望する試験区分と同一区分)として令和7年3月31日時点で3年以上勤務しており、現在、国公立の正規教員(同)又は都道府県教委・市区町村教委の正規職員である者は、1次を免除、2次は面接のみ。●特別選考Ⅴ(元県内正規教諭特別選考) 過去に大分県内の国公立の正規教員(志望する試験区分と同一区分)として3年以上勤務した者は、1次を免除。●特別選考Ⅵ(教職大学院修了(予定)者特別選考) 教職大学院修了(予定)者は、1次を免除。</p> <p>■免除 次の①、②のいずれかの該当者は、1次を免除。①令和5年度1次及び2次合格者で、同一の試験区分及び教科・科目等を受験する者。②令和6年度1次合格者で、同一の試験区分及び教科・科目等を受験する者。</p> <p>■併願 規定の試験区分及び教科・科目等の組合せに限り、併願可能。</p>

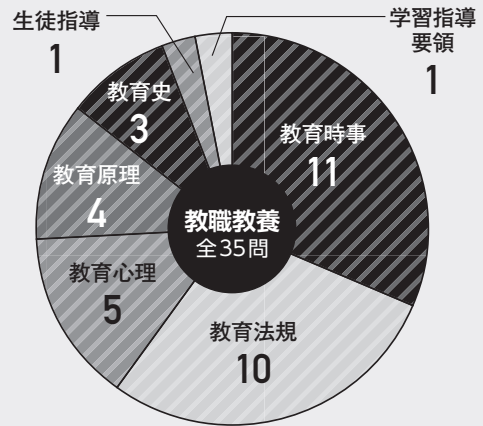
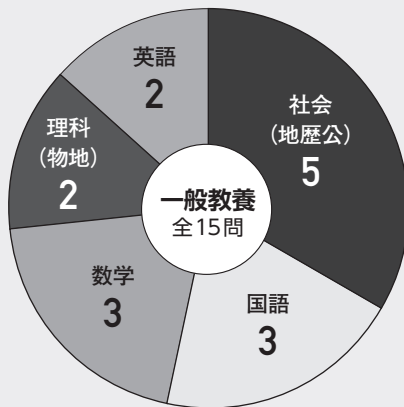
▼受験者数等推移



▼令和4年度 問題行動調査でのいじめの認知件数と不登校児童・生徒数

	小学校	中学校	高等学校
いじめ(件)	7,848	1,357	111
不登校(人)	816	1,887	582

2025年度(2024年実施)筆記試験DATA



- ▶ 必出の学習指導要領総則
- ▶ 教育法規は教育基本法, いじめ防止対策推進法
- ▶ 人文科学では国語(文法)と英語(会話文)

〈教職教養〉では例年、五択形式で幅広い分野からまんべんなく出題されており、今年度も同じような傾向であった。

学習指導要領では総則が必出であり、今年度は「第3教育課程の実施と学習評価」が出題された。

教育原理(学習指導法、特別支援教育、人権教育等)のうち、学習指導法ではジグソー法と完全習得学習が出題された。特別支援教育では、昨年度に続いて「障害のある子供の教育支援の手引」(2021年)が出題されたほか、障害者基本法第3条も出題された。人権教育では、「人権教育を取り巻く諸情勢について」(2021年)が出題された。

生徒指導では、必出の「生徒指導提要」(2022年)から「第1章 生徒指導の基礎」が出題された。

教育時事では、「教育振興基本計画(閣議決定)」(2023年)から「グローバル人材育成」等、テーマごとに10問程の問題が出題された。また、『令和の日本型学校教育』の構築を目指して(答申)(2021年)等も出題された。なお、必出であったご当地問

題は今年度は出題されなかった。

教育法規では必出の教育基本法といじめ防止対策推進法が出題された。また、頻出の憲法や学校教育法、学校保健安全法、地方公務員法のほか、こども基本法等も出題された。

教育心理では、ピアジェ、学習の転移、エピソード記憶、マズロー、フロイトに関する問題がみられた。主要な理論とその特色、提唱者を幅広く押さえたい。

教育史のうち、西洋教育史ではルソー、デューイが、日本教育史では小原國芳に関する問題が、それぞれ出題された。

〈一般教養〉のうち、人文科学では例年、国語(文法)と英語(会話文)を中心とした出題となっており、今年度も同様の傾向であった。社会科学では幅広く出題されており、今年度は日本史(平安時代、明治時代)、地理(地図)、政治(三権分立)、経済(財政)から出題された。自然科学では例年、数学(平面図形等)と理科全般から幅広く出題されており、今年度も同様であった。